



2020年3月24日

各 位

会 社 名 株式会社フェイスネットワーク
代表者名 代表取締役社長 蜂谷 二郎
(コード番号：3489 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役執行役員 石丸 洋介
(TEL. 03-6432-9937)

業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月14日付「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました業績予想を下記の通り、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,000	1,300	1,050	720	144.58
今回修正予想(B)	17,000	960	740	505	101.41
増減額(B-A)	1,000	△340	△310	△215	
増減率(%)	6.3%	△26.2%	△29.5%	△29.9%	
(参考) 前期実績 (2019年3月期通期)	14,164	1,012	817	638	128.14

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値が異なる可能性があります。

2. 変更理由

2020年3月期におきましては、不動産投資支援事業における新築一棟マンションGranDuoシリーズについて、一定の利益率を保ちながら、業績拡大のため積極的に営業活動を行ってまいりました。売上高につきましては、当会計年度に売却を見込んでいた販売用不動産の竣工が複数件来期に回りましたが、今期に予定しておりませんでした不動産を売却しましたことにより当初予想金額と同程度となる見通しとなりました。しかしながら利益面につきましては、融資厳格化により当初予定した利益額を確保できない物件があったこと及び開発物件の地中障害等による工事費の増加により、当初予想の利益を下回る見通しとなりました。

これらの結果、2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期通期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想を、誠に遺憾ながら、上記のとおり修正することにいたしました。

また、金融機関の融資姿勢の厳格化の影響や新型コロナウイルス等による不透明な状況はあるものの、富裕層の投資家の優良投資用不動産に対する需要は底堅く推移しているため、優良な物件開発と販売活動に注力することにより、適正な利益率を確保しながら、業績拡大のため営業活動を行ってまいります。

期末配当予想については、継続的かつ安定的な配当の維持に努めていることや経営環境等を総合的に考慮した結果、2019年5月14日公表(1株当たり30円)から変更はありません。

以上